

# 「なぞのたまご」の正体を知ろう！⑤

## 小鳥の森のレンジャーのお話（7月16日）

幼稚園の近くにある、小鳥の森というところのレンジャーが来てくださり、子どもたちが今まで考えたり試したりしたことを話し合いながら、「謎の卵」の正体について話していただきました。

小鳥の森のレンジャー

実際に色々な卵や巣を見せていただきました



これは小さすぎるし、色が違うから「謎の卵」とは違うよね



自分たちだけではわからなかった色々な知識を教えていただき、本物の卵を見せていただくことで、ついに謎の卵の正体が「カラスの卵」であったことがわかり、子ども達はとても驚いていました。

その後の話の中で、「鳥は人間が一番怖い。鳥さんは自分で巣を作る。じゃあみんながしてあげられることは？」と問いかけられると、「見守ってあげる、追いかけてたりしない、そっと静かにしてあげる」という考えがでてきました。

## 次の日

プールに行く途中偶然ハトがやって来た時に「ハトがいるからシーっだよ」と声をかけあいそっと歩く姿がありました。小鳥の森のレンジャーと考えたことを、日常生活でも生かす姿が見られました。

謎の卵の正体はわかりましたが、設置した鳥の巣はそのままにしている子どもたちでした。「自分達にしてあげられることは見守ること」であるということはわかっており、行動でも表そうとしていましたが、巣箱は残しておく、ということでした。

長い期間自分達で考え、試行錯誤してきた巣箱に対する思いの強さが感じられました。また、もしかしたら自分達の巣箱にも鳥が来るかもしれない、という期待はまでもっているということなのかと考え、鳥の巣箱はそのまま置いておくことにしました。